

第1回「ブラジリア春祭り」開会式
山田大使挨拶（案） （2017年10月7日（土）12:00）

みなさん、こんにちは。

本日、第1回「ブラジリア春祭り」の開催をお祝い申し上げます。

私は8月に着任したばかりですが、当地において早々にこのような盛大な日本祭りに参加できることを心から嬉しく思います。

今回のお祭りを準備されたのは、中西部日伯協会連合のエルミニオ・スギノ会長、クニヨシ・ヤスナガ日本祭りコーディネーターを中心とした方々と伺っております。今般ご尽力されているすべての皆様に対して、深甚なる敬意を表します。

「春祭り」は、参加者の皆様が新たな日本の魅力を発見することのできる機会だと思います。これまで、日系人の皆様が営々と日本の文化を大事に守り、広めて下さったおかげで、太鼓や日本食は既にブラジル文化の一部になっています。この「春祭り」では舞台や出展のそれぞれにおいて、参加者が創意工夫を凝らして様々な日本の魅力を皆様にアピールすることでしょう。

ブラジルの日系社会は、多くの試練を乗り越え、ブラジルの農業生産に大きく貢献しました。自然との関わりを大事にする日本人だからこそ為し得たことだと思います。自然を感じさせる「春祭り」は、このような日・ブラジル関係の原点を体現する象徴的なイベントでもありましょう。

来年は日本人移民110周年にあたります。記念すべき年に向けて、日本大使館は、更に多くの方々に日本の魅力をお伝えするよう、一層積極的な取り組みを進めていきます。

なお、本日は日本大使館員夫人たちもブースを出していますので、お立寄り頂ければ幸いです。

どうもありがとうございました。